

ご使用に際して、この説明書を必ずお読みください。
また、必要な時に読めるよう大切に保存してください。

ホリエ 龍円湯（疎経活血湯）

ホリエ 龍円湯は、漢方処方中の疎経活血湯の処方にしたがって、生薬を配合した煎剤で、特異なおいがある。

龍円湯は、体力中等度で、飲酒を過ぎ、あるいは性生活の過多などによって、体力が衰え、疼痛からだじゅうを走りまわり、特に左の下肢が痛みその痛みが夜間にはなほだしいものに適している。

⚠ 使用上の注意

⊗ してはいけないこと

（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる）

次の人は服用しないこと

生後3ヶ月未満の乳児。



相談すること

- 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
 - 医師の治療を受けている人。
 - 妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - 胃腸が弱く下痢しやすい人。
 - 高齢者。
 - 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
 - むくみのある人。
 - 次の診断を受けた人。 高血圧、心臓病、腎臓病
- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	食欲不振、胃部不快感

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症状
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
偽アルドステロン症、 ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。

- 1カ月位服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
- 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

その他の注意

服用に際して、次のことに注意してください。

- (1) 定められた用法・用量を厳守すること。
- (2) 煎じ液は、必ず熱いうちにかすをこし去ること。
- (3) 本剤は、必ず1日分ずつ煎じ、数日分をまとめて煎じないこと。
- (4) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。
- (5) 1歳未満の乳児には、医師の診療を受けさせることを優先し、やむを得ない場合にのみ服用させること。

【効能・効果】

関節痛、神経痛、腰痛、筋肉痛

【用法・用量】

大人は1袋を1日量とする。1袋に水約600mLほど入れ煎じて約半量に煮つめ、煎液を1日2～3回に分けて食前または食間空腹時に温服する。

ただし、小児は下記の用量を服用する。

15歳未満7歳以上	大人量の2/3	7歳未満4歳以上	大人量の1/2
4歳未満2歳以上	大人量の1/3	2歳未満	大人量の1/4以下

【成分・分量】

本品1袋(1日量) 28.5g中

日局トウキ	2.0g	日局ジオウ	2.0g	日局センキュウ	2.0g
日局ソウジュツ	2.0g	日局ブクリョウ	2.0g	日局トウニン	2.0g
日局シャクヤク	2.5g	日局ゴシツ	1.5g	日局ボウイ	1.5g
日局リュウタン	1.5g	日局ショウキョウ	1.0g	日局カンゾウ	1.0g
局方外イレイセン	1.5g	日局ボウフウ	1.5g	日局チンピ	1.5g
局方外キョウカツ	1.5g	日局ビャクシ	1.5g		

【保管及び取扱い上の注意】

- (1) 小児の手のとどかない所に保管すること。
- (2) 直射日光をさけ、なるべく湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- (3) 誤用をさけ、品質を保持するため、他の容器に入れかえないこと。
- (4) 煎じ液は腐敗しやすいので、冷暗所又は冷蔵庫等に保管し、服用時に再加熱して服用すること。

お問い合わせ先

堀江生薬株式会社 お客様相談室

受付時間：9時から17時まで(土、日、祝日を除く)

☎ 06-6231-1890

製造販売元

堀江生薬株式会社

〒639-1031 奈良県大和郡山市今国府町367-1